

## 大島地区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 令和元年7月20日(土) 11:00~12:30  
場所 川東高齢者福祉センター大島分館(旧大島公民館)  
司会・進行 川上連合自治会長  
参加者数 男 44人 女 10人 合計 54人



### 1 市の重点事業に関する質問

#### 【質疑応答】

(参加者) 新居浜の学校では、いじめは存在しているのか。存在している場合、市はどのような対策・指導をしているのか。

(教育委員会事務局長) 全くないとは申し上げられない。対策としては、事案ごとに、事務局に配属されている指導主幹の先生が中心となり、心に寄り添った対応をとるよう努めている。

### 2 校区課題

#### 課題名 大島漁協倉庫について

#### 【質疑応答】

(参加者) 海苔加工所であった建屋のそばに住んでいる。この建屋は放置されている状態で非常に危険である。台風の時など、割れたスレートが飛んでくる。もし被害があったら、どう対応していただけるのか。また、樹脂製の浮きが放置され、上之町自治会の特に道路沿いは、ゴミ置きのような状態だ。衛生面も心配なので、この際、一切を取っ払って、一帯を海浜公園として整備してはどうか。

(経済部長) ご指摘の建物は昭和41年に建設され、53年が経過し、危険な部分がある

ことも把握している。しかしながら、大島漁協の所有であり、市の方で解体・撤去することは困難であり、今後も漁協に対し、解体・撤去を強く要望したい。浮きにつきましても漁業用に使用されていたことは明白なので、漁協に対し、所有者の確認を行っているところだ。確認できれば所有者に対し、適切な処分を行うよう要望したい。

(参加者) 倉庫からの飛来物で人的被害があった場合、市は何か対応してくれるのか。こういう危険な状況を、市は放置するのか。

(経済部長) 建物の解体・撤去を市の方で実施するのは所有者がいるため困難だが、建物を何かに有効活用するというのであれば、国や県の助成もあるかも知れないので、一緒に対応を考えたいと思う。市として何ができるか、改めて確認する。

(参加者) 多喜浜漁協で同様の問題が起きたとき、市から補助金が出て、建物を撤去したと聞いたことがあるが。

(経済部長) 多喜浜漁協については市の施設であったため、市が解体・撤去した、という経緯だ。

(市長) 建物は大島漁協所有であるので、解体・撤去について、市として強く指導する。

(参加者) 建物を建てるときは農林水産省等から何等か補助金が出ているのに、解体するときは所有者に任せきりというのはおかしいのではないか。個人に対処を任せるのではなく、市や行政がもっと関与すべきだ。

(市長) 漁協に対して強く解体・撤去を指導し、経過を報告する。

※再検討事項 … 特になし。ただし、漁協への指導内容・経過の報告をする必要あり。

## 課題名 大島一周道路について

### 【質疑応答】

(参加者) 東側海岸道路を中心に改修が進んでいるが、危険箇所は他にもある。落ち葉やイノシシが掘った土が積み重なり、道幅が狭い箇所、日当たりが悪く、苔が生え、滑りやすい箇所など。島に入ってくる車も増えているので、事故が起こる前に、道路幅の確保など安全な道路整備が必要だ。

(建設部長) 一周道路の危険な路面陥没箇所・腐食したガードパイプについては、早急に対処を行う。落石対策工事など危険箇所の改修も順次、今後6箇所計画しており、令和5年度の完了を予定している。危険回避ということで、拡幅より、落石対策を現在優先している。樹木等の伐採も年2回実施する予定としているが、不具合箇所については、ご相談いただけたらと思う。

(参加者) 伐採については、もっと幅広く実施して欲しい。市長は一周道路を回られて、

どう思われたか。

(建設部長) 秋の伐採時に、対応させていただきたいと思う。

(市長) 竹の伐採、クラックの補修などは早急に対応しなければならない状況だった。毎年度5,000万円を計上し、対策を進めていくが、緊急度がある箇所は、その予算で優先的に手当てすることも検討する。

(参加者) 自動清掃車のようなものを導入することは検討できないか。伐採についても、新居浜には機械産業が集積しているのだから、人力でなく、機械で効率的に伐採できるようなものを導入することはできないのか。今までと同じやり方では、いちごっこが続くだけだ。

(建設部長) 伐採については、私有地から市道に被ってきている部分を切ることでしかできないため、機械の導入は困難な部分がある。

(参加者) 道路幅については優先的に予算を確保していただいて、元の道路幅の確保をお願いしたいと思う。

(参加者) 和井田から西に向かう道路沿いの水路が落ち葉で埋まっているため、水が水路を流れず、道路を流れ、道路脇をえぐって、土が道路を覆うという悪循環になっている。水路の修復をお願いします。

(建設部長) 現地調査し、修復可能かどうか、確認する。

(参加者) 急傾斜地に隣接する民家があるが、民家の方に樹木が張り出してきている。伐採できないか。

(建設部長) まずは、その土地の所有者の方に対応をお願いしていただくこととなる。

(川上会長) この点については、市の都市計画課に申告すれば対応してくれる。ほか、木の伐採について、土地の所有者を確認ということだったが、所有者が分からない箇所があるので、その部分については連合自治会が責任を取ることで、希望箇所は広く伐採をお願いしたいと思う。救急車両が通れないというのは困る。

(建設部長) ご要望として承る。

※再検討事項 … 特になし。

### 3 その他

#### フェリーの問題について

(参加者) 救急車を載せる場合、出航を早める緊急放送を行うこととなっているが、その放送が無く、船に乗れず、仕事に遅れた人が出た。決め事は守って欲しい。ほか、乗船中に切符を購入できることになっているのに、対応してくれない職員がいる。管理者は、そ

の状況を把握しているのか。また、管理基準というものがあると思うが、船の清掃が行き届いておらず、不快な思いをすることがある。そうした基準があるのかどうか、あるとした場合、市は、それが徹底できているかどうかを把握しているのか、聞かせて欲しい。

次に、車両ごと乗船した場合、乗船中は車両から出るように職員から指導を受けるが、荒天の場合、それが正しい対応なのかどうか、考えて欲しい。船に乗せた車両には、車止めを必ず据えること、船内放送を利用してのマナー等の啓発を徹底して欲しい。

(経済部長) 緊急放送の件については、容体をみた消防士が一刻を争うと判断し、放送のいとまが無かった事例と把握している。接客マナーの向上等、ご指摘も当然と思われる事例があるので、遵守すべき事項の徹底と合わせ、今後、指導を徹底したい。

#### ※追記事項

校区懇談会終了後、救急車を乗せたときの出航時間の放送について、真意が伝わっていなかったという話があった。言いたかったことは、救急車が黒島で乗船した時点で大島にいる船員(4名中1名は必ず大島にいる)に連絡し、放送することになっており、そうすれば黒島から大島に向っている約15分間がある。その間に乗船できる。大島着後に救急車両が乗船後すぐに出航することについては問題があるわけではないとのこと。

#### 和井田海岸に下りる道路の取り付け、又は補修について

(参加者) 和井田の浜に車で下りる道路がない現状だが、和井田は大島の象徴のような場所であるので、道路の取り付け、又は補修をお願いしたい。活性化にもつながると思う。ほか、小規模な崩れであれば、住民がユンボを操作して復旧ができると思うので、ユンボの配備が可能かどうか、教示願いたい。

(建設部長) 和井田の浜に下りる道路については、個人の所有と伺っており、市費を投入するのは困難である。ユンボについても、お考えは十分理解できるが、配備には困難な部分がある。

(川上会長) 現在の道路は崩れかけているので、新規の取り付けではなく、補修という対応をお願いできないか。

(建設部長) 調査し、市として何ができるか、ご連絡させていただく。

(市長) 私有地があるということなので、所有者を確認しなければ、市としてできることの判断もできない。まずは調査を行いたいと思うので、ご協力をお願いします。

#### 大島についての長期ビジョンについて

(参加者) 市の大島についての長期ビジョンを聞かせて欲しい。

(企画部長) 離島振興法に基づく離島振興計画を策定している。10年の計画だが、その

中に観光開発・産業振興の項目もあるが、顕著な成果は出ていないと考えている。地域おこしには、民間活力が必要であるため、「えひめさんさん物語」の中でも取り組まれているシーカヤックなど、市としても地域振興につながる可能性があるものについては支援も検討したい。白いもについても、JAとの連携、地域おこし協力隊の活用も考慮しながら、生産の拡大・収量の安定に向けて、支援を検討してまいりたい。